

第2学年 英語科学習指導案

平成26年10月08日(水) 5校時
宜野湾市立宜野湾中学校
2年4組 男子9名 女子9名 計18名
授業者 宮川龍寛

ブロック研究テーマ「思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり」 ～県学力到達度調査から見える課題を改善する授業づくりを通して～

【ブロック研究テーマとの関連】(昨年度の県学力到達度調査結果から見える課題と改善策について)

昨年度の県学力到達度調査結果から言語活動(聞くこと、話すこと、読みこと、書くこと)の中で特に「読むこと」の正答率が低い結果が出ている。特に「物語のあらすじや大切な部分などを正確に読み取ること」や「本文の大まかな流れをつかみながら読み取ったり、特に中心となる事柄などを的確に読み取ること」に課題を残している。以上のことから本単元においては、挿入写真などからの推測場面を設けるなど、環境を守るためにどのような取り組みが行われているのかを読み取りの大切な視点に据え、思考力、判断力、表現力の育成に繋がる言語活動を展開していきたい。

1. 単元名: NEW CROWN 2 Lesson 3 “For Our Future”-Further Reading 1 (三省堂)

年間指導計画 P4(7月)指導内容

2. 単元の目標

- ・資料を読んで書き手の意向を読み取ることができる。
- ・未来を表す表現や接続詞 that を理解し、使う。
- ・自分や友達の予定について話す。
- ・地球環境の未来について考える。

3. 単元について

(1) 教材観

・地球環境問題は多種多様であると同時に、相互に関連し、同じ根を共有している。本単元では地球温暖化による海面上昇によって影響を受ける国やその対策としてのクリーンエネルギーの開発、絶滅危惧種の保護の題材を利用して、未来形 will, be going to~, 接続詞 that を学習していく。学習指導要領の第2章「外国語科の目標及び内容」の「(1) 言語活動」の「読むこと」の(ウ)では、「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。」とある。また、(エ)では「伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること」とある。本時で扱う「Further Reading 1」では、登場人物(ポーラ)が国際会議で発表する記事を読むことになるが、コスタリカの環境を守るためにどのような取り組みが行われているのかのリーディングポイントを持ちながら比較的長い長文の中から大切な部分を正確に読み取る力を身につけさせたい。また、英文中に難しい語彙があってもリーディングポイントの視点から読み取りにおいて細かい語彙内容にとらわれることなく、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取り、発表者の意向を理解できるよう、指導の際には手立てを与えていきたい。本題材をとおして生徒が「読むこと」の言語活動に興味関心

を持ち、意欲的に読む活動に参加できるよう教材の内容的価値にも触れていく。

(2) 生徒観

①単元・教材に対する児童生徒観

・地球温暖化、海面上昇、再生エネルギー等は小中学校の理科や社会科でも取り扱われる課題であるため、調べ学習等を経験していると思われる。生徒たちの知識や経験に基づく意見を積極的に引き出すことができるレッスンと言えるだろう。

②生徒の実態

・英語に対して興味関心を持っている生徒や積極的に発言する生徒も多いが、相手の言うことを最後まで聞かずに発言してしまうことが多々ある。これまでのリーディング指導では本文を訳して進めていくことが多く、本時「Further Reading 1」のような長文では代名詞が何を指しているのかを理解しつつ読むことを苦手とする子が多い。

(3) 指導観

・本単元では、文法指導で助動詞 **will** と **be going to** の未来形が取り扱われている。助動詞の文法が定着していくように **can** などの既習の語なども合わせて確認し理解を深めさせていきたい。Be going to～は **be+going** で進行形と混同しないように **to** 動詞の原形を強調し、その違いを説明したい。また、コスタリカのエコツーリズムについては、生徒が一文一文の訳読に終始することがないように、大事な視点を **Q&A** 方式で考えさせながら読み進めることができるよう工夫をしていきたい。そのためにも、教材研究では読みの視点を整理しておきたい。単元のまとめの際には、世界的な環境課題についても考えさせ、地球環境の未来についても触れていきたい。

4. 単元の評価規準

単元	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解
		話すこと	読むこと	書くこと	聞くこと	読むこと	
L3	「言語活動への取組」間違ふことを恐れず積極的にインタビューしている。	友達と自分の日曜日の予定を発表することができる。			ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取ることができる。	パンフレットを読んで、書き手の意向を読み取ることができる。	「言語についての知識」未来を表す表現 (will, be going to ~) , 接続詞 that に関する知識を身につけている。

5. 単元の指導計画・評価計画

1	・教科書 P24 「未来形①will」を用いた肯定文、疑問文とその答え方、否定文を理解し、問題を解くことができる。 ⇒ドリル 17, 18, 19
2	・教科書 P24~P25 の単語の発音ができ、本文の音読、内容が理解できる。⇒ノート P24,25
3	・教科書 P26 「未来形②be going to+動詞の原形」を用いた肯定文、疑問文とその答え方、否定文を理解し、問題を解くことができる。⇒ドリル 14, 15
4	・教科書 P26,27 の単語の発音ができ、本文の音読、内容が理解できる。⇒ノート P26,27
5	・教科書 P28 「接続詞 that」の使い方を理解し、問題を解くことができる。⇒ドリル 47
6	・教科書 P28 の単語の発音ができ、本文の音読、内容が理解できる。⇒ノート P28,29
7	・教科書 P30,31 の単語の発音ができ、本文の音読、内容が理解できる。⇒ノート P31
8	・教科書 P32 「ニュースに挑戦」のリスニングができる。P33 Try をノート P36 へ 3 行程度書くことができる。
9	・教科書 P34 「文法の要点」を参考に復習する。⇒ドリル 20、ノート P32,33
10	・教科書 P36 「We're Talking③」単語の発音、本文音読、重要表現の理解
11	・単元テスト③⇒Lesson 3～We're Talking③
本時	・教科書 P107 “Costa Rica – A Country of Eco-Tourism”

6. 本時の指導「コスタリカのエコツーリズムの一端とその意義について学ぶ。」(12/12時間)

(1) ねらい

- ・環境問題への取り組みについての記事に触れ、その要点を押さえながら読む
- ・コスタリカのエコツーリズムの一端とその意義について学ぶ。
- ・Lesson3 で扱っているパウラの発表内容の説明文として位置付けることができる。

(2) 本時の評価規準 ＜外国語理解の能力（読むこと）＞

- ・コスタリカのエコツーリズムの一端とその意義について学ぶ。

(記事を読んで、あらすじや大切な部分を正確に読み取り、書き手の意向を読み取ることができる。) ←言語活動の「(イ) と (エ)」との関連

(3) 授業仮説

・地球環境問題に関する資料を読む場面において、基礎知識として環境問題が相互に関連していることを知り、その対策の1つであるコスタリカのエコツーリズムの取り組みを紹介することによりその意義を学ぶことができ、子ども達は意欲的に読む活動に取り組むだろう。また、挿入写真などからの推測場面を設けるなど、環境を守るためにどのような取り組みが行われているのかを読み取りの大切な視点に据えることで、生徒は読むことの言語活動に意欲的になり思考、判断、表現する力が身に付くであろう。

(4) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童・生徒の反応	指導上の留意点、評価等
導入 (5分)	1. あいさつ 2. ウォームアップ	・あいさつや出席確認をしながら発言できる雰囲気作りを行う。 ・簡単な英会話をする。	・ミスは気にしない
展開1 (15分)	3. 地球環境問題を挙げてみる(復習) <Lesson 3 USE Read> 4. Eco-Tourism の復習(単語、内容)	・大気汚染、水質汚染、土壌汚染、酸性雨、地球温暖化、海面上昇、オゾン層破壊、生態系の破壊、森林の減少、資源の減少など ・コスタリカ、エコツーリズムについて思い出しながら、発言する。 ・発音練習、意味を確認する。 ・教師の発問に答える。	・それぞれの問題が相互に関連し、同じ根を共有していることを考えさせる。 ・PC, projector 使用(単語ソフト)

<p>展開 2 (25 分)</p>	<p>5. Further Reading につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語の確認 <i>Central America / view / protect / delicate / rainforest / need / protection / bridge / connect / ground / as~ / lay / safely / be proud / such as ~ /</i> ・本文黙読 ・本文音読 ・内容理解 <p>6. 学びの振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持てるような工夫をする。 ・単語のソフトを利用して発音練習と意味の確認をする。 ・本文に入る前に、どんな取り組みをしているのかを予想して書かせてみる。 ・「環境を守るためにどのような取り組みをしているのか」に留意して読む。 ※代名詞が何を指しているかを確認 ・ワークシートに記入し、自分の意見を紹介する。 ・教師の問いかけに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(動画、画像)の提示 <p>外国語理解の能力</p>
<p>まとめ (5 分)</p>	<p>7. 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 	<p>学びの振り返り (教師)</p>

7. 評価

・ポーラの発表の記事を読んで、書き手の意向を読み取ることができ、ワークシートにその取り組みを書くことができる。

8. 板書計画

<ol style="list-style-type: none"> 1. Show a movie about Costa Rica 2. Review the words 3. Check the new words 4. Show Paula's opinion 	<p>【めあて】 <i>Wednesday October 8th Sunny</i></p> <p>(コスタリカ)の(エコツーリズム)がどんな取り組みをしているかを読んでみよう。</p> <p>フラッシュカード等を貼り付ける</p>
--	--

Further Reading①

Costa Rica-A Country of Eco-Tourism

CLASS _____ NO. _____

NAME _____

【1】空欄を埋めましょう。

- ①コスタリカは (_____) 発祥の地である。
- ②熱帯雨林の面積は地球全体の (_____) %で、地球の (____分の____) の酸素を生み出している。
- ③エコツーリズムとは (_____) こと。

【2】教科書 P31 エコツーリズムについてのポーラの発表を読んで、コスタリカでは何ができていると言っていますか。

【3】コスタリカでは環境を守るために、どのような取り組みをしているのでしょうか。

(1) どのような取り組みをしていると思うか、あなたの考え (予想) で書いてみよう。

(2) ポーラの発表の記事を読んで、どんな取り組みをしていると分かりましたか。

(3) 地球環境を守るためにあなたが今日からできる取り組みは何がありますか。

【自己評価】・ポーラの発表の記事を読んで、コスタリカのエコツーリズムの取り組みが理解できましたか。

理解度を 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

【感想】・今日の授業の感想を何でもよいので、書いてください。

(_____)

18. They lay eggs there.

19. People help the turtles.

20. They clean the beaches for them.

21. They protect the eggs and baby turtles
from dogs.

22. So the turtles can go safely to the sea.

23. It also makes work for people.

24. They protect turtles and guide visitors.

25. I am very proud to be from Costa Rica.

26. I studied about eco-tourism at school.

27. It protects our special animals and plants.

28. It makes work for people, such as my
parents.

29. Protect the environment — it is good for
us in many ways.
